

「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト・キックオフ集会 講演資料
(2013.02.09、小山市立生涯学習センター)」

－生物の多様性を求めて－

宍塙の里山活動における 田んぼの事例

認定NPO法人 宍塙の自然と歴史の会 及川ひろみ

位置
茨城県
土浦市宍塚

東京60km圏

つくばTX
つくば駅
JR常磐線
土浦駅



宍塙大池

筑波山



至 つくば駅(5.5km)

宍塙大池

至 土浦駅
4.1km

至 東京 約60km 直線距離
常磐高速道路

1Km





維管束植物 720種類(種および変種)

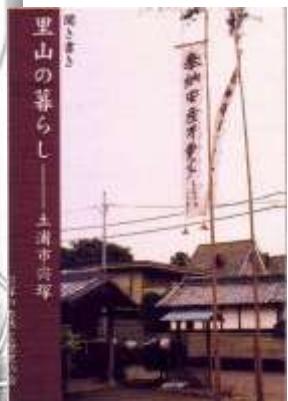
野鳥 145種 (ワシタカ10種)

トンボ 51種

チョウ 67種



般若寺 建治元年(1275)の銘が 入る総高115.2cmの銅鐘

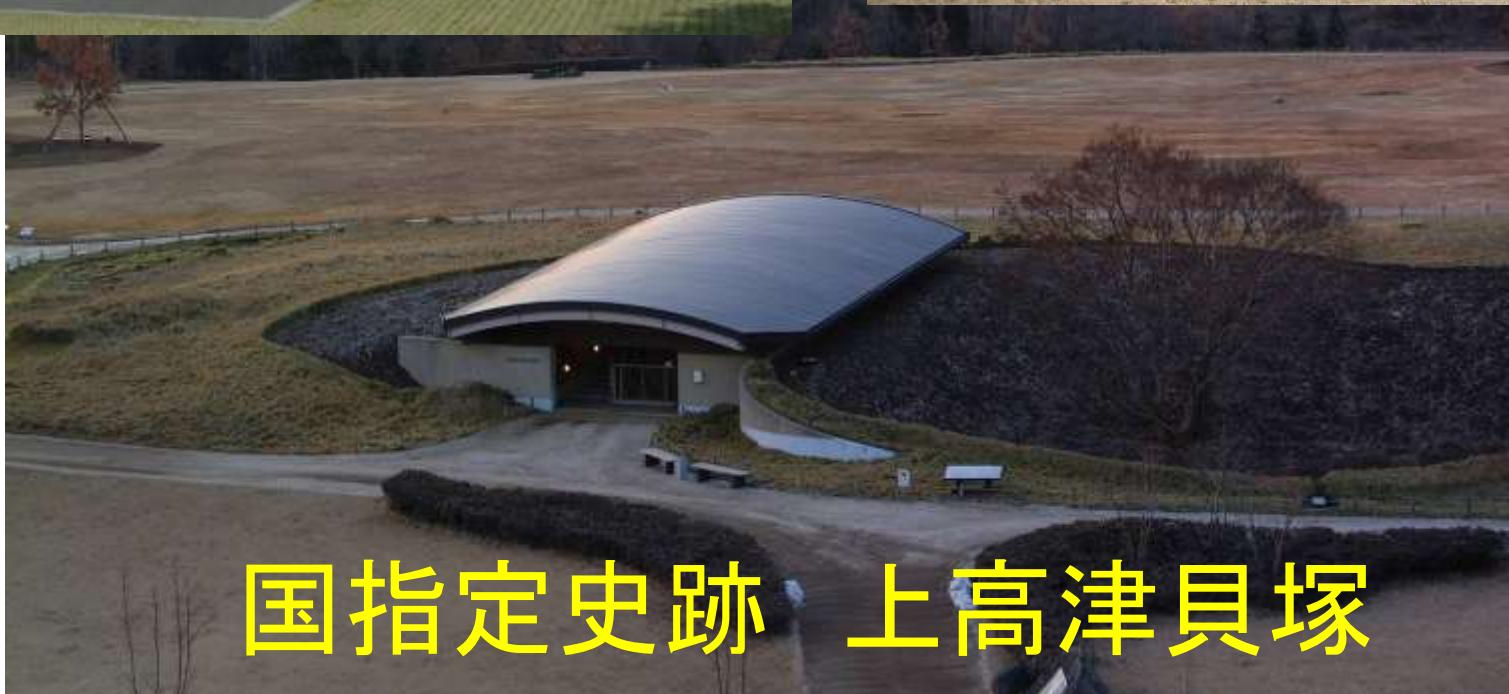




土浦市立考古資料館



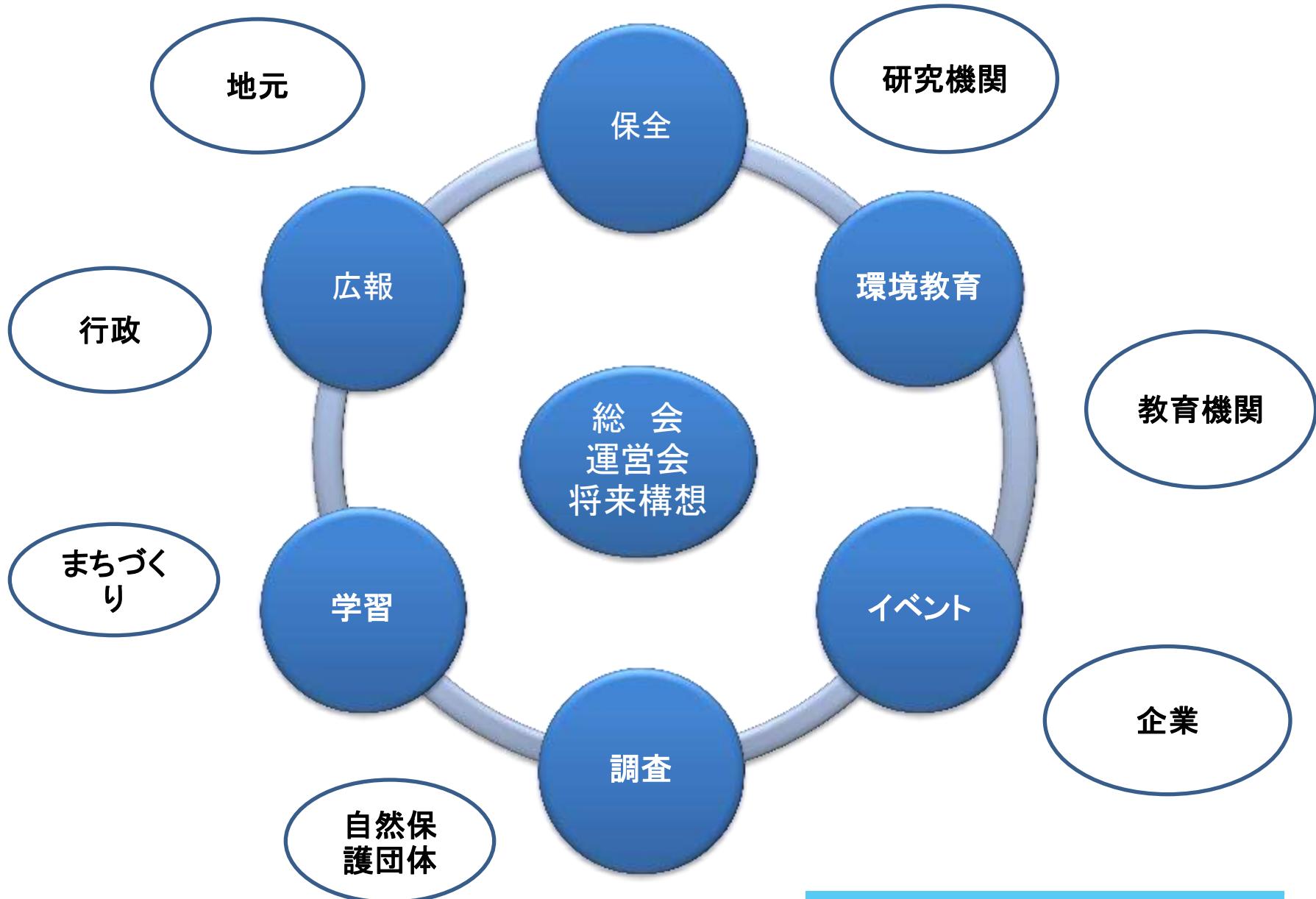
復元された縦穴式住居



国指定史跡 上高津貝塚

宍塙の自然と歴史の会

- 1980年 自然観察会始まる
- 1987年 土曜観察会始まる
- 1987年 宍塙 天王池地区における区画整理事業計画の新聞報道
- 1989年 正式発足 つくば市民会議で発表
- 1989年 会報創刊
- 1990年 雜木林・観察路・池の植生管理始まる
- 1992年 オニバスサミット開催
- 1994年 水田耕作開始
- 1999年 田んぼ塾・米オーナー制始まる
- 2003年 NPO法人格取得
- 2004年 ブルーギルなど外来種駆除始まる
- 2005年 モニタリング1000 予備調査始まる
- 2010年 認定格を取得
- 2010年 活動がユネスコ未来遺産登録される



里山 多様な生物を育くむ場
ヒトと文化を育くむ場

環境教育観察会

月例テーマ観察会



子ども探偵団



土曜観察会

毎週土曜日

探鳥会

第3土曜日

第4土曜日

環境教育 学生

小中学校



大学 専門学校



調査

より深く正確に知り保全に生かす

水質調査 植生調査

昆虫調査 クモ調査

野鳥調査 サシバ調査

カエル調査 哺乳類調査

水質調査 きのこ調査

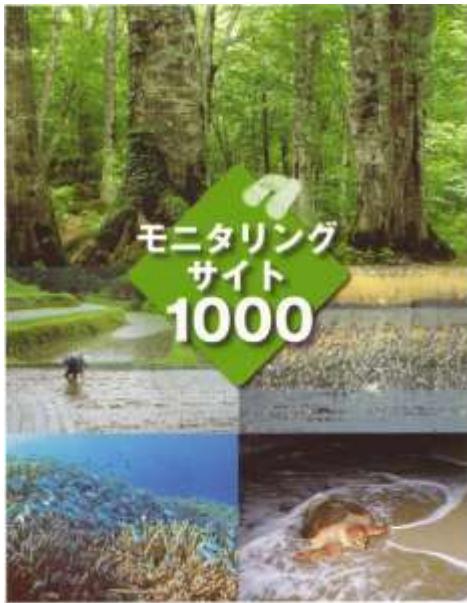
日本自然保護協会合同
里山モニタリング調査実施中



モニタリング1000

100年の自然の移り変わりをみつめよう

モニタリングサイト一覧



モニタリング
サイト
1000

モニタリングサイト1000では、平成19年度末までに1,000か所程度を目安に全国にモニタリングサイトを設定していきます。平成17年度末までに約600か所のサイトが設定され、調査が開始されています。

今後、全国的なバランスを考慮しながら、必要なサイトを追加していきます。

- 凡例
- 森林・草原
 - 墓地里山
 - 河川・湖沼・湿地
 - 干潟
 - 砂浜
 - サンゴ礁
 - 岩場

各生態系での主な調査項目

- 森林・草原——樹木生長調査、森林生態系調査、社収性甲虫類評定、繁殖鳥類調査
- 墓地里山——生物多様性、地形地質調査
- 河川・湖沼・湿地——干潟・カモ類調査
- 干潟——シギ、チドリ類調査
- 砂浜——ウミガメ調査
- サンゴ礁——サンゴ被度調査
- 岩場——魚類調査

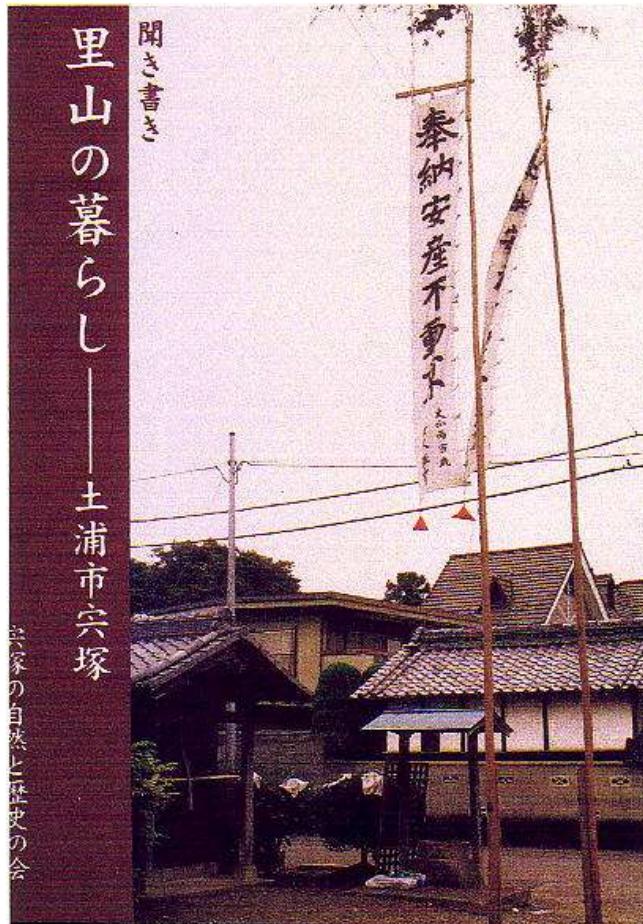
モニタリング
サイト
1000

環境省 1000箇所100年
日本の自然の変化を見つめます

宍塙は
里山コアサイトです



聞き書き調査



宍塚大池周辺の状況、田畠、林の利用方法、行事、衣食住、娯楽、その他以前の生活のようすを聞き取り

イベント



保存 再生 里山は農によって育まれた

米オーナー制



地元との協働活動



谷津田の耕作 たんぼ塾・田んぼの学校



畑の耕作



里山の手入れ



水路の管理



雑木林の手入れ 1990-



ビオトープ池
池西湿地(耕作放棄田)

企業との協働



ゴミ拾い

生態系の修復

外来魚駆除

環境省委託事業



繁茂しすぎたハスを刈る

土浦市委託事業 繼続中



1990年7月より

- 1992年2月
茨城県・土浦市に「宍塙大池のオニバス等水生植物生育環境の保全に関する陳情」
1992年の9月オニバスサミットを開催
現在 土浦市委託事業として実施

ため池

目標

水質の改善



昭和30年代の生物相環境を目標

方法

水質調査・生物相調査

池のハス・ヒシの刈り取り

外来生物駆除

同じ水系の在来魚の増殖



ため池

生態系回復の兆し？



ドジョウ一網に1000匹

ヤゴ類の増加



コオイムシ

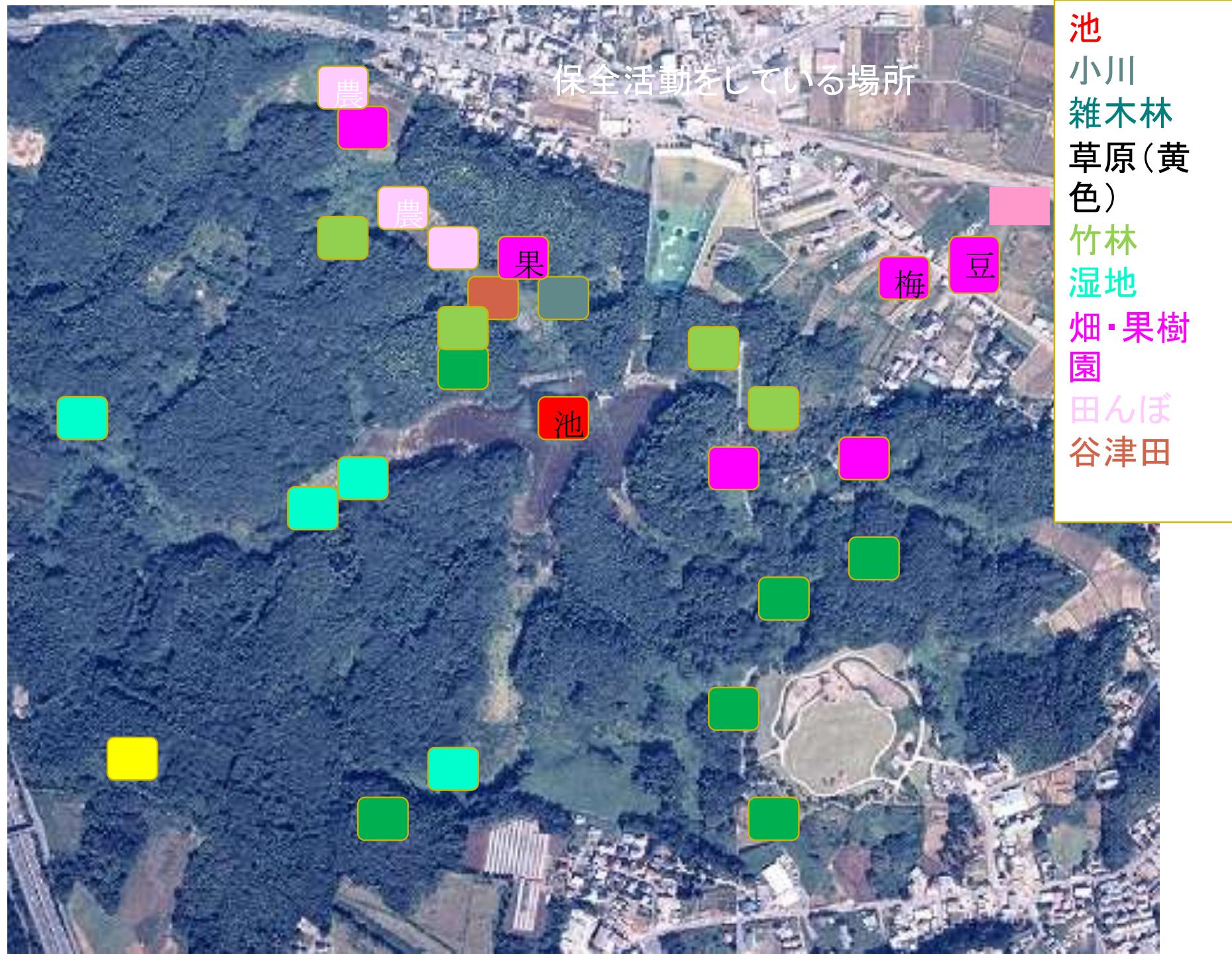


タガメ



スジエビ

8月末までに479尾



広報 定期刊行

五斗蒔だより

認定NPO法人 宍塚《しづか》の自然と歴史の会

2011年
5月号
No.258

般若寺訪問記

宍塚の般若寺は、平安時代に創建されたと伝えられ。中世には大伽藍を持っていた由緒あるお寺です。園の重要な文化財となっている梵鐘をはじめ、絶界石、五輪塔などの石造物や仏像など、貴重な文化財がたくさんあります。数年前般若寺の寺となっていましたが、一昨年山内豊昇さんはお住まい。敷地や植物の整備をすすめながら法要などを飾めてこられました。この《月日》は、在勤りの日に般若寺で山内さんと一緒に住職となるための普門式が盛大におこなわれたということを地元の方から伺ったので、4月16日にお寺を訪問して、今後の抱負などをインタビューさせていただきました。

内山さんは新潟県長岡の妙徳寺というお寺に生まれました。大学卒業後、中国の南京大学への留学を経て、東京でセラリーマンとして働いたそうです。36歳のとき、一大決心をして、真言宗豊山派の總本山である奈良県葛井市の長谷寺に修行に入られました。6時半に起きたら、朝参、勤行のち、朝食をとり、それから授業という厳しい半領の修行生活だったそうです。そこで、大学の先生がたによる授業などのほか、お経の読み方、密教ならではの道具の使い方など、お坊さんとしての実技も学ばれたそうです。そして、つくばみらい市の板橋不動院住職の下村清喜大慈正からのご紹介で般若寺に来ることになったとのことでした。般若寺の奥に住居寺の住職も兼任されるということです。

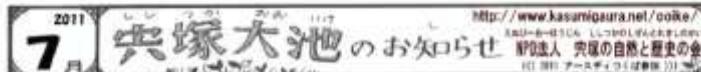
住職の仕事としては仏事、布教、実践というのがあるそうです。仏教の寺として法事を伝えていくということに加え、実家のお寺の住職である、おじ様からは、お寺には文化を伝える役割がある、と教えられたそうです。地域の伝統、歴史を次世代に伝えることもお寺の大仕事だと語られました。故郷のお寺では子どもたちが泊り込んだり研修があり、その体験は貴重なふるさとの想い出となっているそうです。皆が来られるような深度を鑑み、地域のコミュニティーー近隣の人たちのつながりのお役にたてるような活動をしていきたい、などの抱負をうかがいました。

最後に先代の故板本住職が大切に手元に置いておられたたる御遺堂の写真をさせていただきました。御遺堂は江戸時代に三島教授が建てたといいうお堂ですが、1975年の台風で倒壊しました。1977年に解体されました。

御遺堂重要文化財。般若寺の御遺堂
御遺堂 (1975) 由治久友の作

認定NPO法人 宍塚の自然と歴史の会 五斗蒔(ごとまき)だより 2011年5月号 No.258

五斗蒔だより 月刊B5版16頁
印刷800部+PDF版
1989年12月創刊
259号(2011年7月) 総頁4070頁



7月 月例テーマ観察会

トンボ

講師 廣瀬 誠さん

(ヒスマイトトンボの発見者)

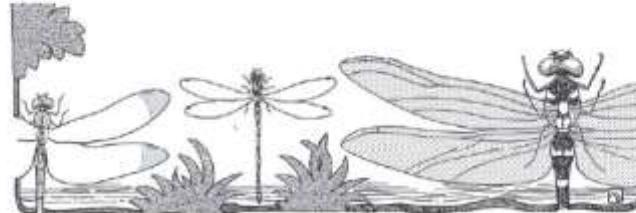
トンボは昆蟲の中でも一番早く飛ぶらしい。

「空飛ぶ宝石」といわれている、ギンヤンマ。

最高時速はどれくらいかな?

①自動車 ②高速道路を走る車 ③新幹線 (答えはこの順序のどこにある?) 今日は、どんな

トンボに会えるかな? ヤゴの抜け殻も見つかるかな? たくさん質問、まってます。



○里山子ども探偵団 (第4土曜 10:00~12:00) 6/25・7/23 (土)

生き物といつも季節。生き物をよく観察したり、里山の中であそんだり。中学生までのは大人

と一緒に参加してね。＊帽子、飲み物、長靴＊ 雨対応＊ 会場TEL: 090-9680-0141 (北村)

○里山生き物調査 (9:00~12:00) 6/11・7/16 (土)

生き物に興味がある方ならどなたでも。＊ 小雨対応＊ 問合せ: 090-9840-7194 (会場係)

○土埋競賽会 (毎週土曜 9:00~12:00) *小雨対応* 問合せ: 090-9840-7194 (会場係)

これらすべてのイベントは、雨天で、豪雨の申し込みはいりません。お気軽にご参加ください。

子どもやめ基金 (独立行政法人国立青少年教育振興機構) 欧成活動

** 会場所: いずれも土浦市園田中央宿舎前。クラッカーパークとモンスターの間の通路・競賽会用駐車場**

サイズの回答: ②: 幅100~140 キロメートルで済みそうですね!

宍塚大池のお知らせ 11回/年
配布数14000部/回
土浦市・つくば市的小学校などに配布

広報 出版物



里山学習会

市民 行政担当者とともに学ぶ



守山 弘さん

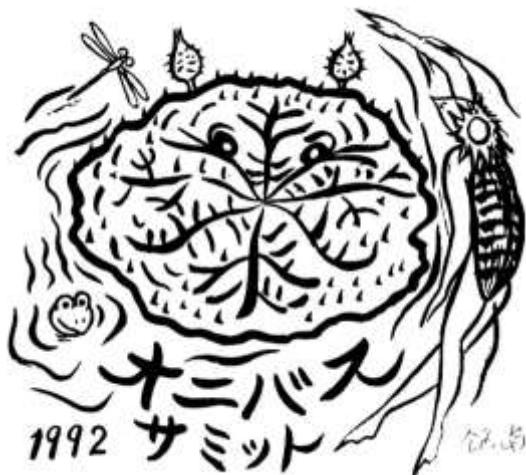


鷺谷 いづみさん

里山保全学習会（2月16日第20回開催予定）

県職員（環境政策・都市計画課・農政課・林政課・観光課）
土浦市（環境保全課・都市計画課・観光課）

シンポジウムの開催



オニバスサミット 1992.09



里山サミット 1993.10



サシバサミット 1994.12



ため池シンポ 2004.11



モニタリングシンポ
2006.02

田んぼの生物多様性の取り組み

- 田んぼ塾・田んぼの学校
- サシバの里 宍塚米 オーナー制
- 地元農家と田んぼの協働活動

放棄水田の再生 1

田んぼの学校－無農薬・無化学肥料・冬季湛水

- 開校式 と 里山見学
- 田植え と さなぶり
- 田の草取り(2回)
- 生き物調査
- かかしつくり
- 稲刈り(2回)
- 脱穀
- かかし送り
- ならせもち と 終了式



放棄水田の再生 2

田んぼ塾



無農薬・無化学肥料・不耕起栽培(川口農法)

水路4m間隔

アカガエルの産卵に適する深さは10cmに設定

作業は、田んぼ塾生 &田んぼ塾事務局

谷津田の米のオーナー制度

1999年開始

耕作維持が困難な谷津田



谷津田耕作農家からコメを高い値段で買い受けることにより、谷津田の耕作を支援



扱うコメの量 :2トン
農家:2軒

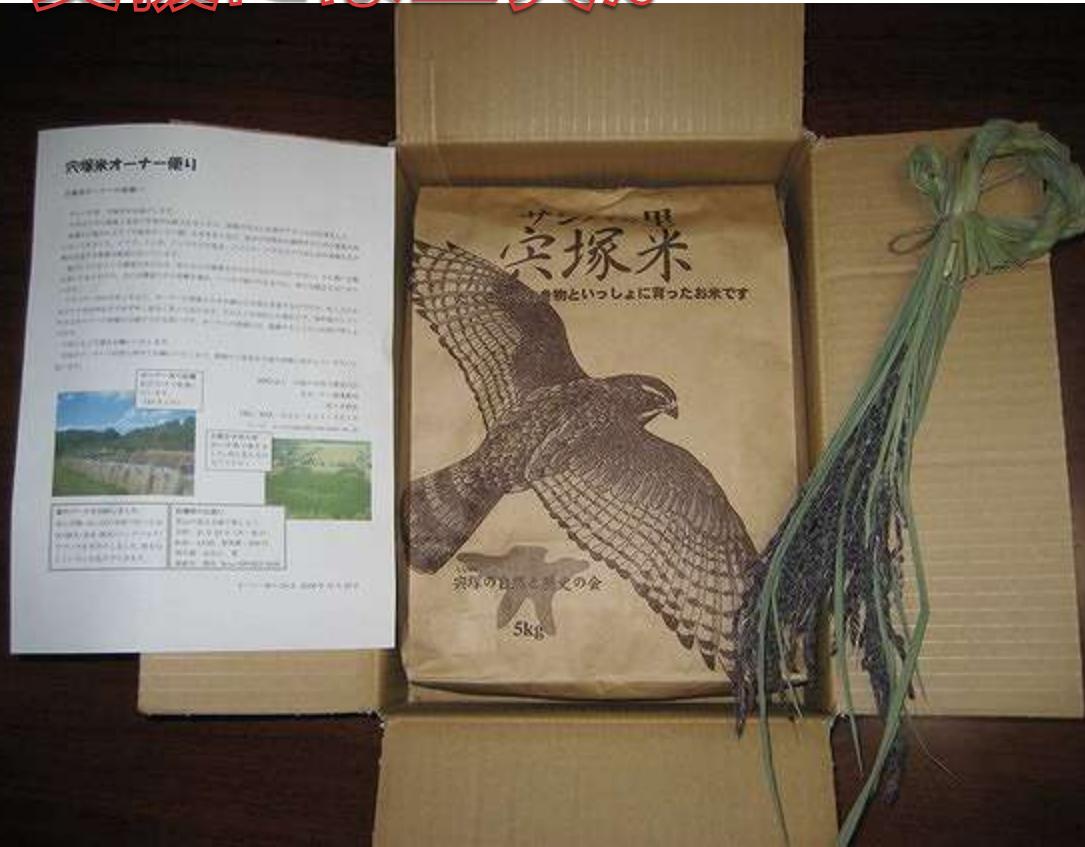
オーナー参加者:約100人

減農薬栽培－生きもの調査の結果、無農薬の田んぼとの違いはほとんど見られなかった。



精米 5kg入れ	3, 200円(送料込み)
精米10kg入れ	6, 000円(送料込み)
玄米 5kg入れ	3, 000円(送料込み)
玄米10kg入れ	5, 500円(送料込み)
玄米30kg入れ	10, 500円(現地引取)
玄米30kg入れ	12, 000円(送料込み)

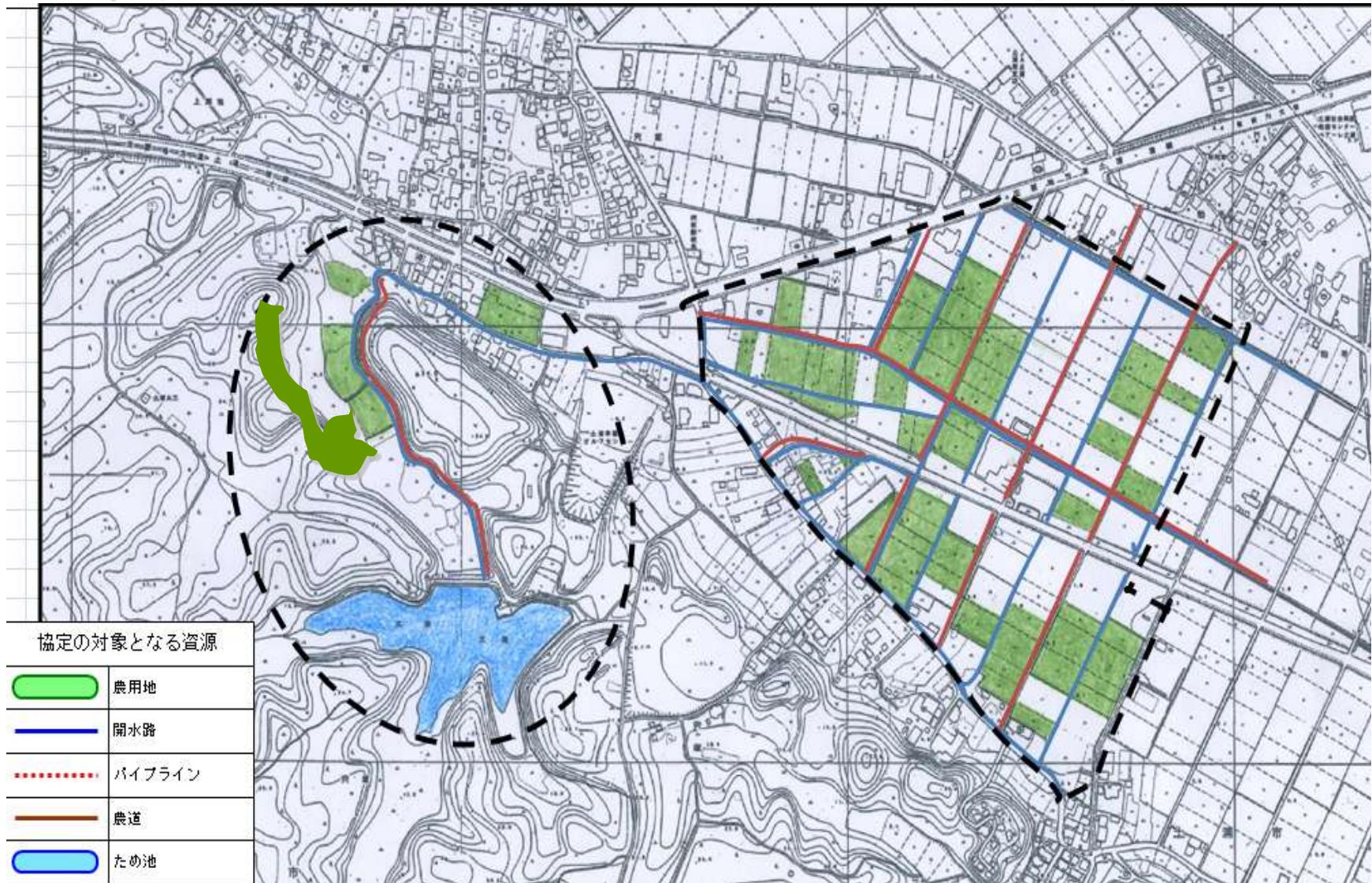
支援には工夫が



オーナー便り -2回発行
栽培方法・農家の紹介等を
オーナーさんに伝えています



地元農家10軒との 田んぼ 協働活動



今後:新規農業業従事者(1名)を支援予定

協働活動



畔の草刈り

休耕地の草刈り

水路整備

ウナギ



田んぼの生きもの調査



カエル類 アカガエルの卵塊調査

- ・企業などが参加する保全活動に活かす



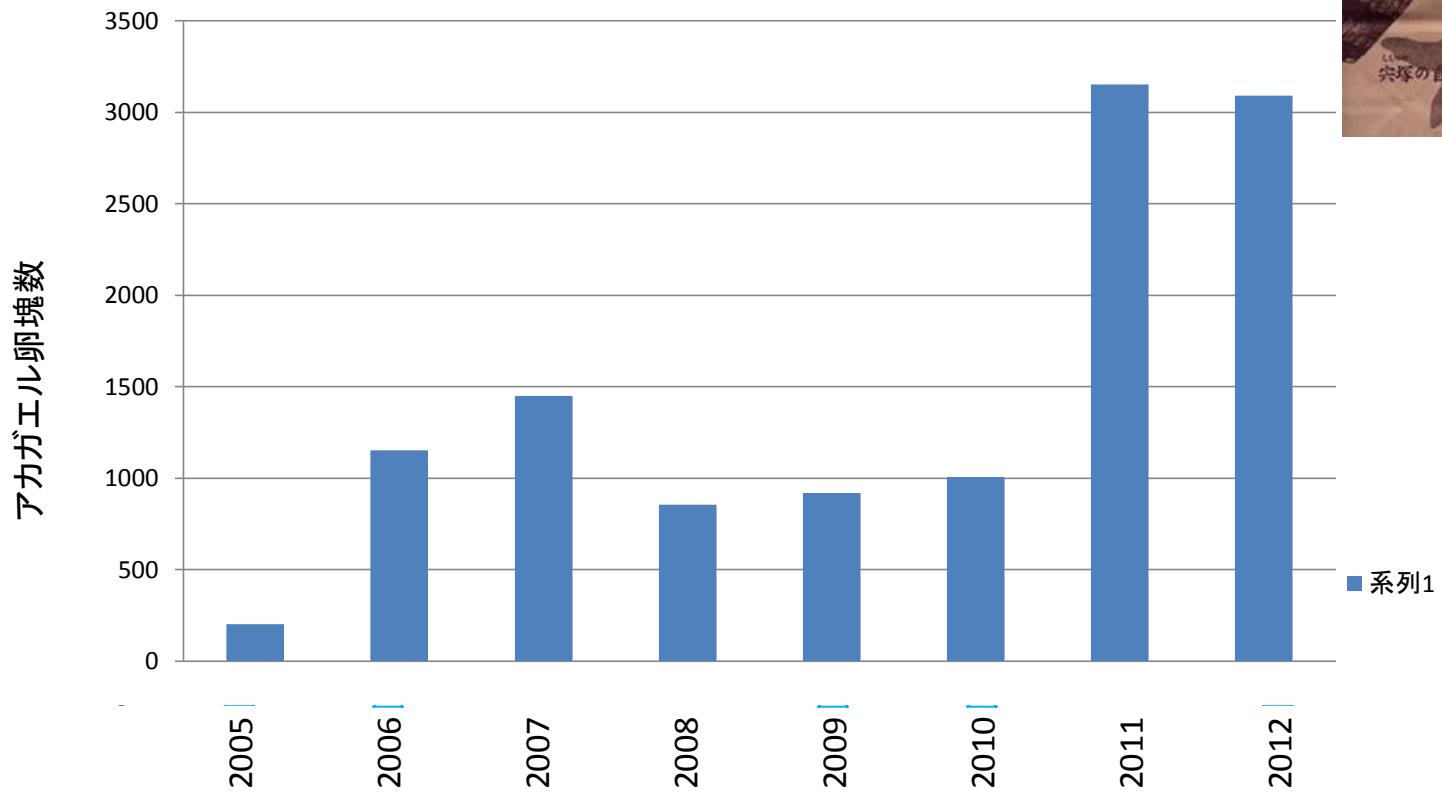
http://mushinavi.com/navi_hatuyurui/data-kaeru_aka.htm



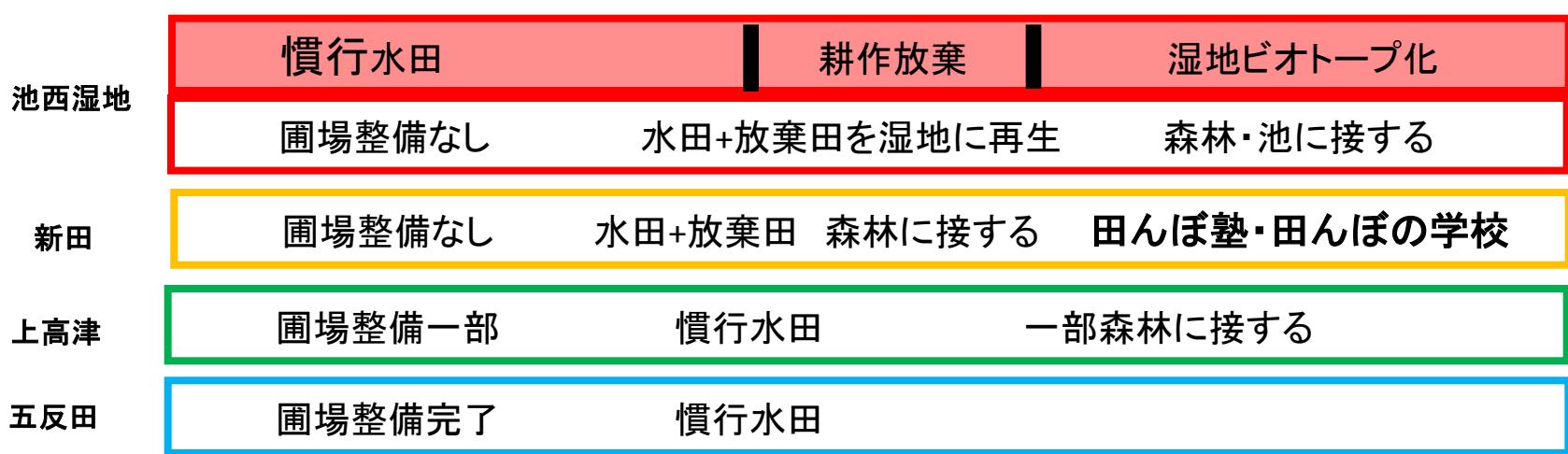
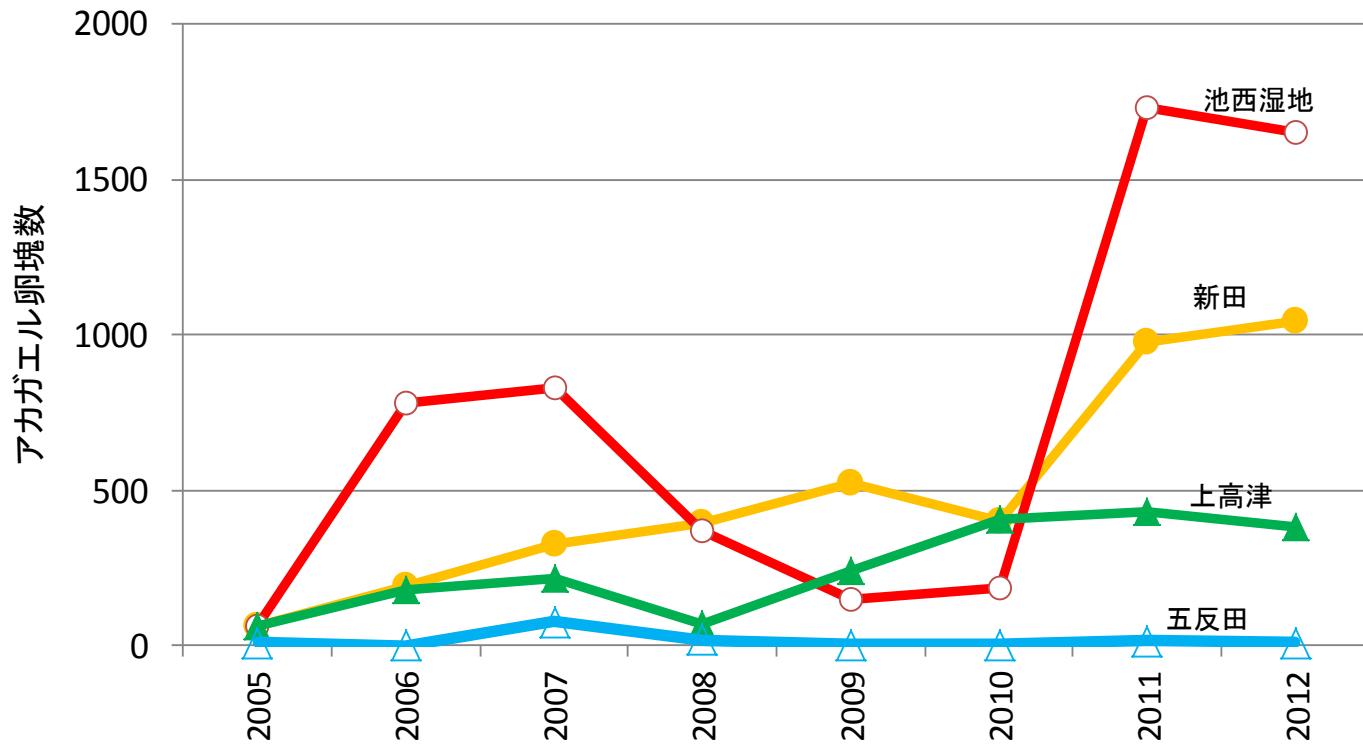
<http://www5e.biglobe.ne.jp/~ootaka/bodaigi1.htm>

サシバ

2012年7月2日
繁殖確認(ヒナ2羽)



アカガエル卵塊数、2012年は2005年の約6倍に





作業前
2010/11/06

池西湿地における 植生管理活動



作業後
2011/07/02

柳の伐採



2011/11/05

学生・企業の参加による保全の推進

年次	作業者	延べ参加者数
2009	大学生のみ	20人
2010	富士通	45人
2011	富士通 LIXIL	120人
2012	富士通 LIXIL	70人



2011/11/05

セイタカアワダチソウ引き抜き



2011/11/06